動物看護総合学科(シラバス)

所属教科(授業科目)	学習目標	授業内容	時間数	期間	授業回数	授業方法	担当教員	実務経験の概要
動物内科看護学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	内科診療に必要な技術等、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する	1年次 60 3年次 75 合計 135	1年次 通期 3年次 通期	1年次 30回 3年次 37回 合計 67回	実習	大野・羽生・廣森・早川・田中・小林・向野	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物臨床検査学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する	1年次 60 2年次 30 合計 90	1年次 通期 2年次 後期	1年次 30回 2年次 15回 合計 45回	実習	石橋・羽生・吉田・田中・廣森・永井・藤井	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物外科看護学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を習得する	2年次 30 3年次 60 合計 90	2年次 後期 3年次 前期	2年次 15回 3年次 30回 合計 45回	実習	羽生・萩原・早川・柳井・中村・向野	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物臨床看護学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する	2年次 60 3年次 15 合計 75	2年次 通期 3年次 後期	2年次 23回 3年次 7回 合計 30回	講義	青木・田中・廣森・小林	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物愛護・適正飼養実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する	1年次 250 2年次 150 3年次 150 合計 550	通期	1年次 60回 2年次 60回 3年次 60回 合計 180回	実習	早川・小林・田中・柳井・吉田・風間・石橋・羽生・廣森・山下・萩原・西尾・荻野	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。

学修成果については次のように評価をしている。

・出席状況、レポート等、実技試験、筆記試験等を評価内容としている。

・成績評価は評価内容を評点化し、評点により「優」「良」「可」「不可」と評価し、「可」以上を合格としている。

・次の①と②の基準を満たす場合に認定する。

①成績評価が「可」以上

②出席率が75%以上